
バースデーケーキ

まーくん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バースデーケーキ

【Nコード】

N0151Z

【作者名】

まーくん

【あらすじ】

彼女は、一人前のパティシエを目指している。だがあまり売れず、つねに赤字の状態。何とか続けているが、その時、突然の身内の病気、パティシエを続けるか、辞めるか、絶体絶命の中で彼女の出した答えは？

パティシエ

彼女の名前は「大場 加奈子」19歳。

将来は一人前のパティシエを目指している。

きっかけは小学校四年生の時、

おじいちゃんにケーキ屋さんに連れていってもらった時の事だった。

店内に入ると、何とも幸せな雰囲気、

隣で優しく微笑みながらケーキを選んでいる男の子、

そしておじいちゃんに買ってもらったチョコレートケーキの味にこれまでにない幸福感を感じた。

そして彼女は

「いつか私もケーキで皆を幸せにしたい」と誓った。

それがきっかけで今、

パティシエの道を目指している。

調理師の専門学校を卒業した加奈子は、

先輩の紹介でケーキ屋マルシェで働く事を決めた。

そして無事、面接に受かり就職が決まった。

加奈子は、その事を電話で母親に話すと、

母は「やったね」と嬉しそうに言い

「じゃあ今度加奈子のために祝わなきゃね」と言った。

加奈子は涙目になり

「じゃあ今度帰るね」と言い、

ゆっくり耳から離し震える手で電話を切った。

再開

実家の仙台へ帰った加奈子は
早速、実家の元へ向かった。

一人暮らしを始めて
もう8ヶ月になる。

仙台の駅を下りると、その変わらない
のどかな景色に安心感と共に懐かしさを感じた。

「もう8ヶ月にもなるのか」と周りを見渡しながら囁いた。
その変わらない懐かしさを感じながら、
ゆっくり実家の元へ向かった。

実家の家が近づいて来るにつれ、段々緊張してきた
すると、前方に女の人がこちらに向かって手を振っている。

「お母さんさんだ」
加奈子は、その女性の無邪気な笑顔とおばちゃんみtainな服装に
うちの母親だと確信した。

加奈子は母の突然の登場に
少し半笑いになりながら、ゆっくり歩いていた。
実家に着き、母との再開。

母は「加奈子」と言いながら、軽く抱きしめる。

「やめてよっ」と加奈子は言った。

「変わらないね」と母は言った後、

「中に、皆いるからね」と言い加奈子を連れ、

玄関へと向かった。

玄関に入り、母とリビングへ入ると

家族全員、テーブルを囲み座っていた。

テーブルには母の手料理、

ビール、そして真ん中にはケーキが置かれていた。

すると思わず「そのケーキ」と加奈子は言った。

すると母は

「受かったって聞いたからお祝いに急いで買いに行ったのよ」と微笑みながら言った。

すると、おじいちゃんが「今度は加奈子のケーキを食べる日が来るのか」と言い

加奈子は苦笑いをした。

軽く3時間はいただろう、辺りは日が落ちてきた。

「そろそろ帰るね」と加奈子は帰る支度をする

母は満面の笑みで「今日は泊まってきなさいよ」と言った

加奈子は突然言われたので驚く。

母は「はいはいっ」と

さっと加奈子が持っていたカバンを手に取り

早速、支度を始めた。

加奈子は「まあいいか」と今日は実家に泊まる事にした。

朝になると、突然

母が部屋に入ってきて来た。

「いつまで寝てるのよ」と言いながら起こそうとする。

「まだいいよ」と言いつつ加奈子は起き上がった。

お父さんは

もう仕事の支度をし、

弟は、

高校生だ。

加奈子は「もう帰るね」と言つと

母は「じゃあ朝だけ食べてからね」と言いながら
キッチンで朝食を作っている。

「できた〜」

と言うと母は

朝食をテーブルに置いた。

仕方なくテーブルの椅子に座る加奈子。

「いただきます」と

加奈子は

はしを手に取り

そして懐かしい母の味にひたっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0151z/>

バースデーケーキ

2011年12月4日02時48分発行